

# 第3章 現状分析



1 少子化の進行

2 少子化の要因

3 子育てに対する  
負担感の増大

4 保育の状況

5 子ども・子育てを  
めぐる問題の動向

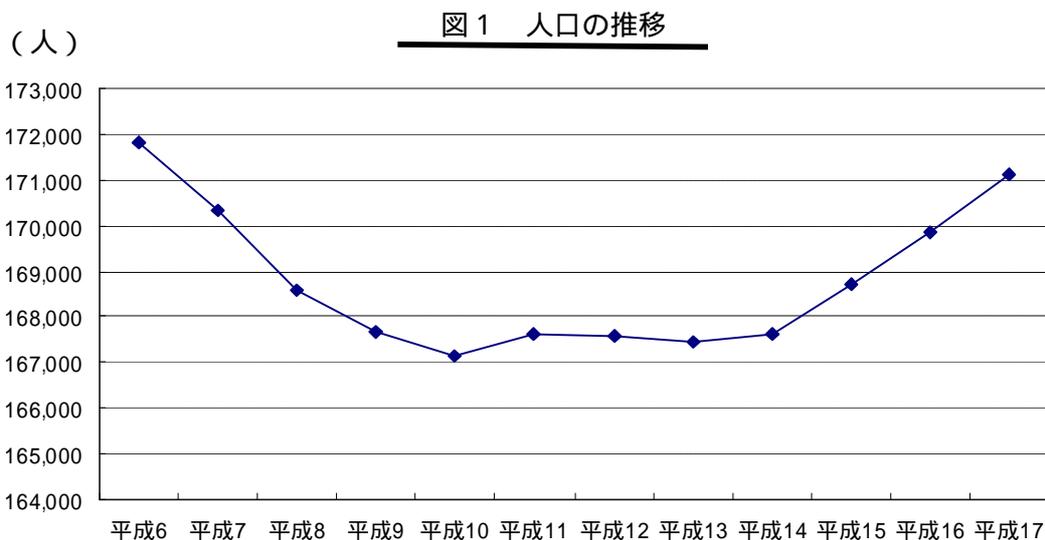


# 第3章 現状分析

## 1 少子化の進行

### (1) 人口の推移 (鎌倉市)

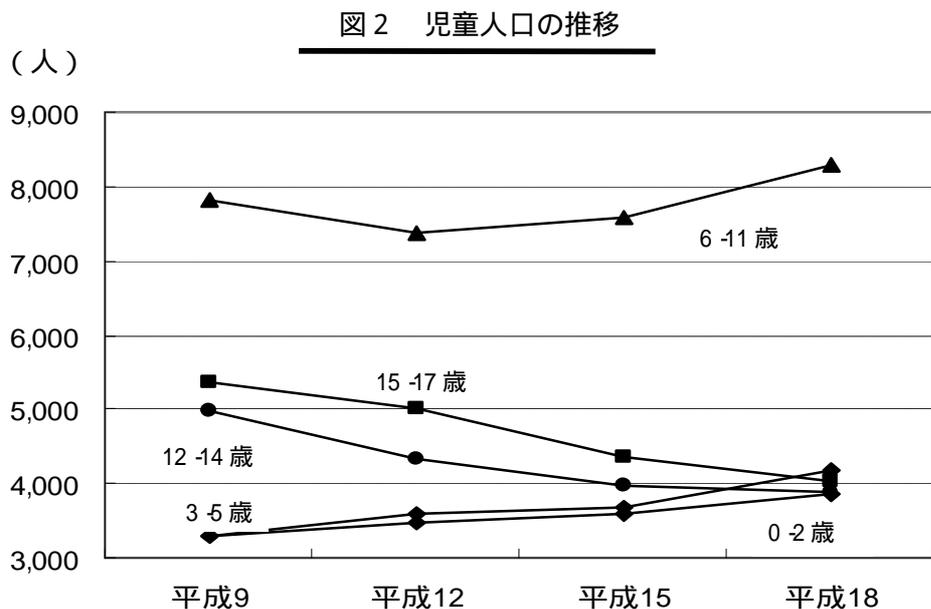
鎌倉市の人口は、平成15年から増え始め、平成17年に平成7年以来の17万人を超えました。



資料：総務課  
各年10月1日現在

### (2) 児童人口の推移 (3、6、12、15、18歳未満)(鎌倉市)

11歳(小学生)までの児童人口は増加していますが、12歳から17歳(中・高校生)までの児童人口は減少しています。今後、12歳から17歳(中・高校生)も下げ止まりが予想されます。

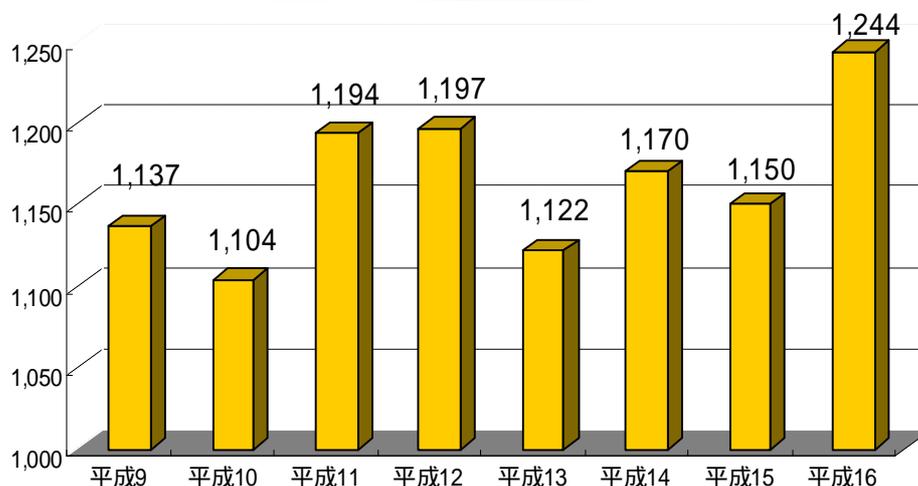


資料：総務課  
各年4月1日現在

( 3 ) 出生数の推移 ( 鎌倉市 )

鎌倉市の出生数は、平成 16 年は 1,244 人で、平成 15 年から 94 人増加しました。

図 3 出生数の推移

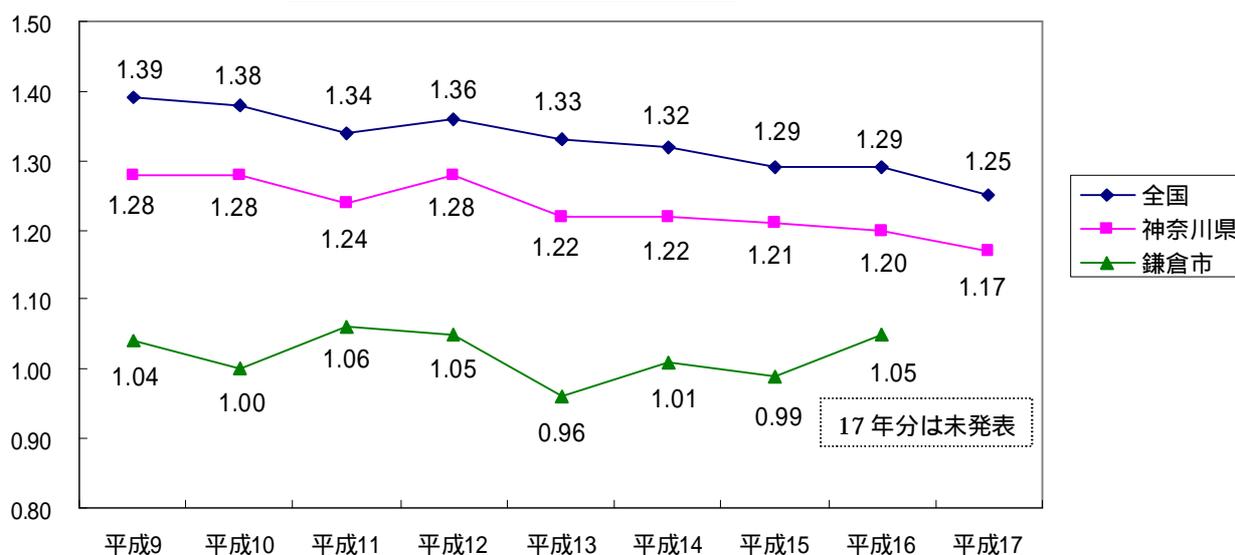


( 資料 : 神奈川県衛生統計年報 )

( 4 ) 合計特殊出生率の推移 ( 全国・県・鎌倉市 )

鎌倉市の合計特殊出生率は、平成 16 年で 1.05 であり、全国( 1.29 ) 神奈川県( 1.20 ) のいずれをも下回っていますが、全国・神奈川県は減少傾向にあるなか、鎌倉市は増加傾向を示しています。

図 4 合計特殊出生率の推移



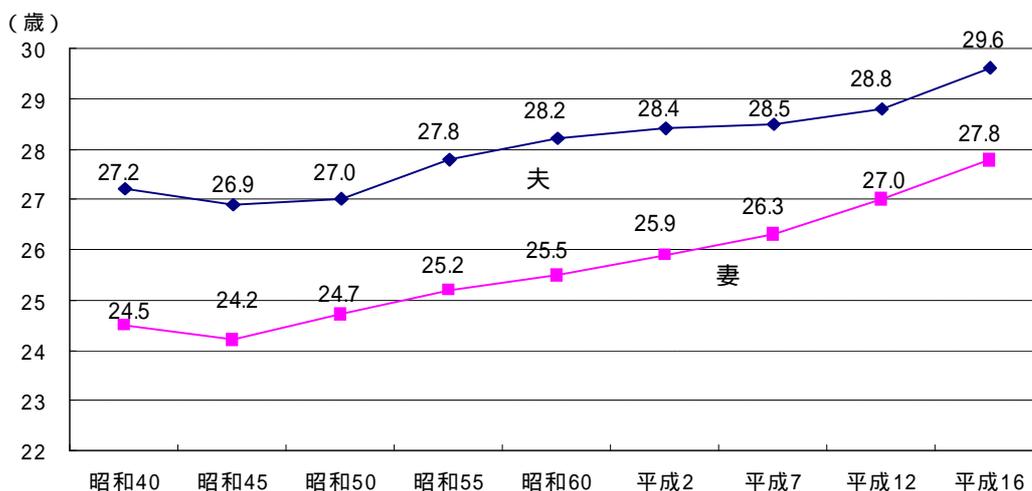
( 資料 : ( 全国・神奈川県 ) 厚生労働省「人口動態統計」  
( 鎌倉市 ) 神奈川県衛生統計年報 )

## 2 少子化の要因

### (1) 晩婚化（初婚年齢の推移）(全国)

平均初婚年齢は、平成16年で、夫が29.6歳、妻が27.8歳と、以前と比べて晩婚化が進んでいます。晩婚化の傾向は、速度が速まっています。

図5 平均初婚年齢の推移



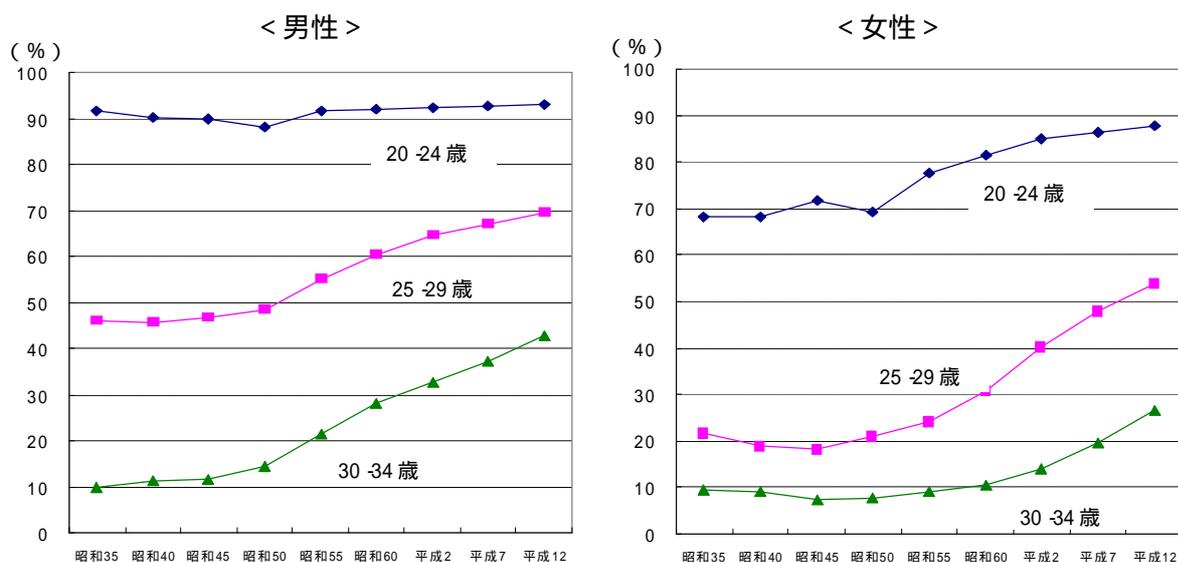
昭和40年は、結婚式を挙げた時の年齢、それ以降は結婚式を挙げた時または同居を始めた時の年齢。  
資料：厚生労働省「人口動態統計」

### (2) 未婚化（未婚率の推移 20～34歳）(全国)

年齢別に未婚率をみると、男女とも、上昇傾向にあり、晩婚化が進行しています。特に男性の25～34歳、女性の20～29歳で顕著にみられます。

図6 年齢階級別未婚率の推移

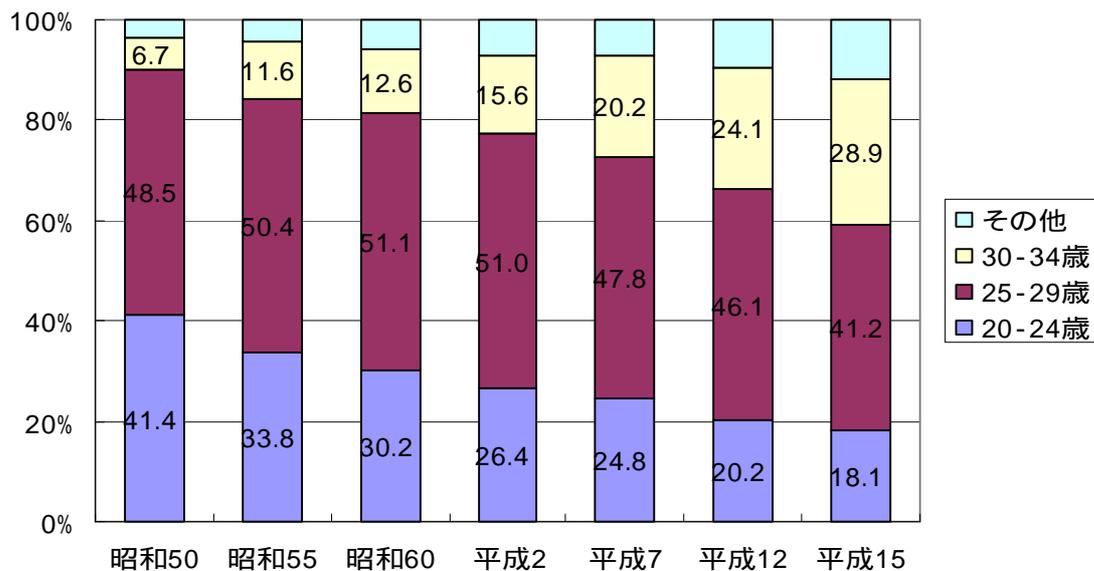
〔資料：総務省「国勢調査」〕



(3) 晩産化(母親の年齢別に見た第1子の出生数割合)(全国)

第1子の出生に関して、母の年齢階級別に構成割合をみると、昭和50年には、20~24歳で41.4%、25~29歳で48.5%、30~34歳で6.7%であったものが、平成15年には、20~24歳は18.1%と大きく減少する一方で、30~34歳では28.9%へと増加しています。このように晩産化の傾向が顕著となっています。

図7 母親の年齢別に見た第1子の出生数推移



〔資料：厚生労働省「人口動態統計」〕

### 3 子育てに対する負担感の増大

#### (1) 理想子ども数と実際の子どもの数の差（全国・鎌倉市）

妻が考える理想の子どもの数と実際に持つ子ども数を平均値で比較すると、較差があり、両者の調査を始めた昭和 52 年以降、実際に持つ子どもの数は、常に理想の子ども数を下回っています。

鎌倉市においても、理想的な子どもの数は「3人」が最も多いが、持つつもりの人数としては「2人」が6割を超えており、理想と現実のギャップがあらわれています。

図8 平均出生子ども数と平均理想子ども数の推移（全国）

(人)

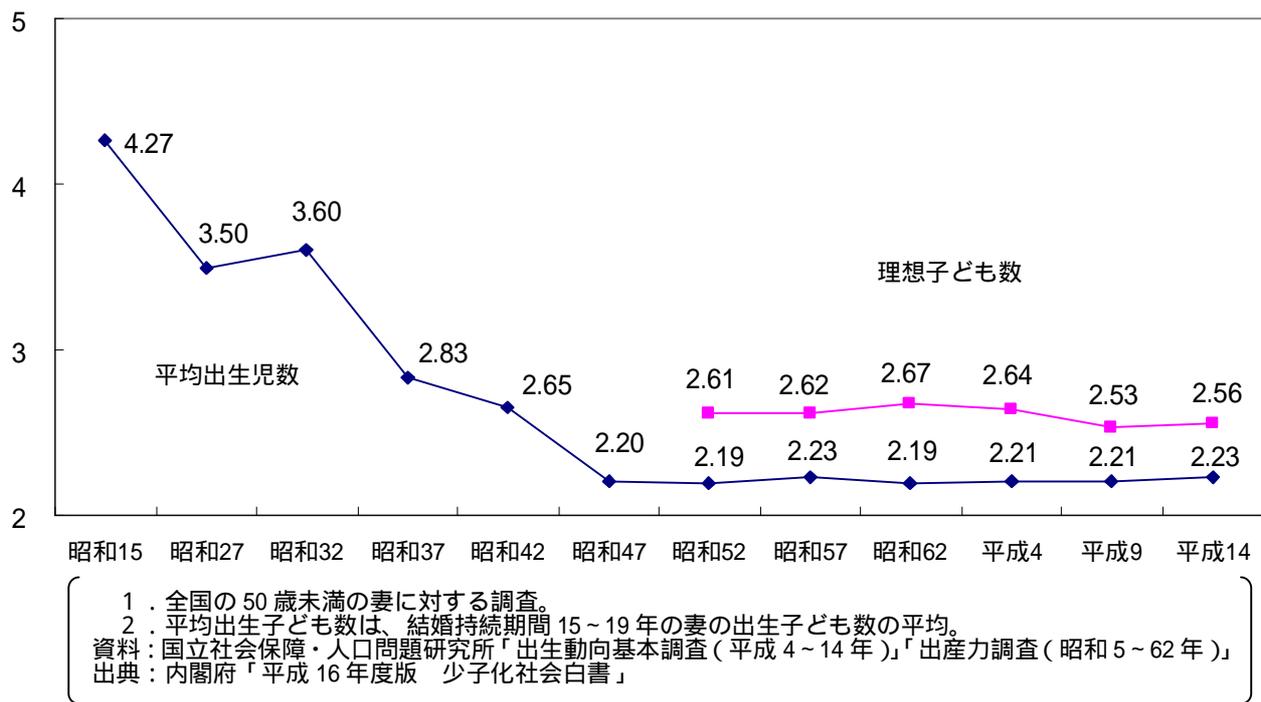
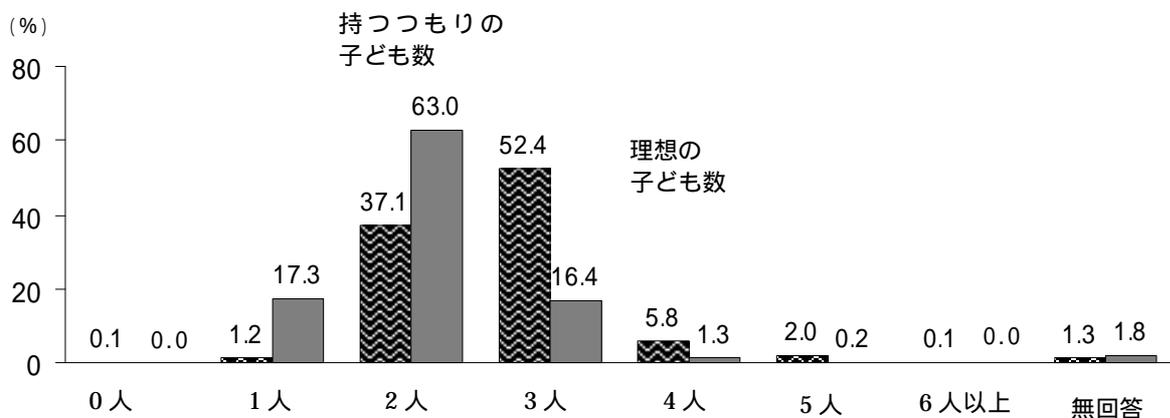


図9 理想と持つつもりの子どもの人数（鎌倉市）

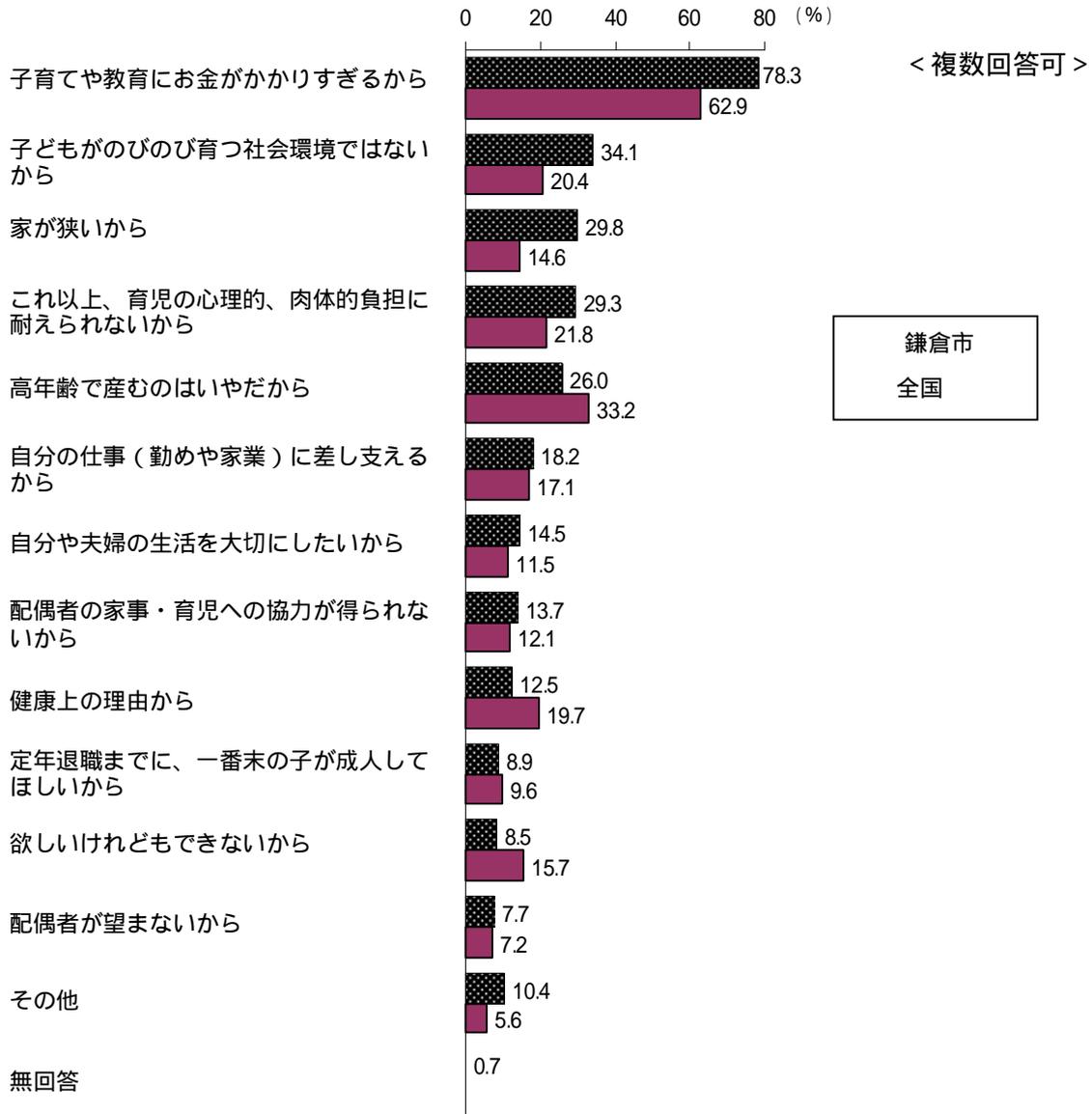


資料：こどもみらい課 「次代育成支援に関するニーズ調査（就学前児童）」（平成16年）

(2) 子どもが理想より少ない理由（全国・鎌倉市）

持つつもりの子どもの数が理想より少ない人に、その理由を聞くと「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が全国（69.9%）、鎌倉市（78.3%）といずれも最も多くなっています。

図 10 女性が理想の数の子どもを持つとしない理由

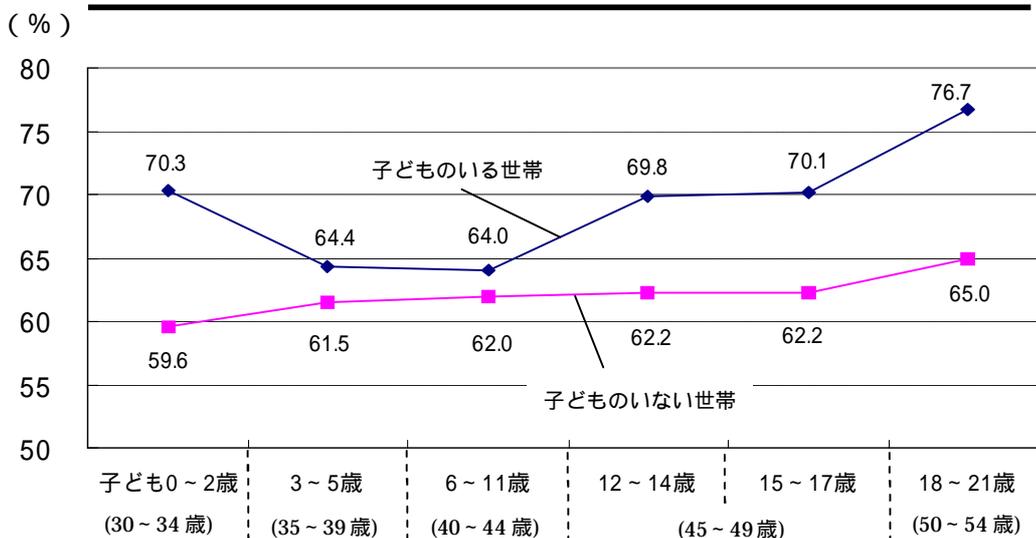


資料：こどもみらい課 「次代育成支援に関するニーズ調査（就学前児童）」（平成 16 年）  
 客体数...895 人  
 国立社会保障・人口問題研究所 「第 12 回出生動向基本調査」（平成 14 年）  
 調査客体...全国の 50 歳未満の妻で予定子ども数が理想子ども数より少ない者に対する調査  
 客体数...2,134 人  
 出典：厚生労働省 「少子化対策関係資料集（平成 16 年度版）」

### (3) 子どものいる世帯と子どものいない世帯の平均消費性向

0～2歳、12～21歳の子どもを一人持つ世帯の消費支出額は、子どものいない世帯を大きく上回っています。

図 11 年齢層別に見た子どものいる世帯といない世帯の平均消費性向



子どもの年齢（子どものいない世帯の対応する世帯主年齢）

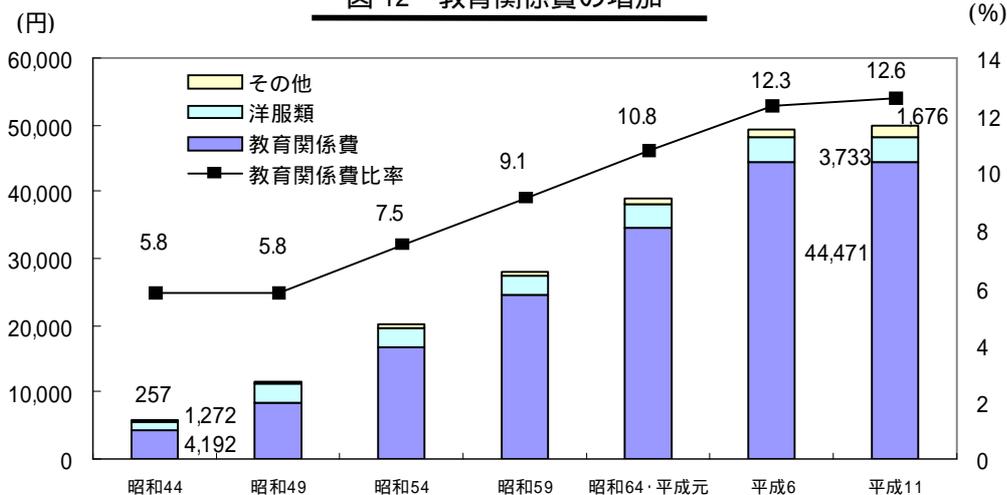
1. 「子どものいる世帯」は、勤労者世帯で夫婦と21歳以下の未婚の子どもが一人おり、世帯主が夫で仕送り金を支出していない世帯より、子どもの年齢別に分類。
2. 「子どものいない世帯」は、勤労者世帯の夫婦のみで世帯主が夫で仕送り金をしておらず、子どものいる世帯主平均年齢と同一年齢層の世帯主の世帯。
3. 2001年～2003年の年当たり1か月平均値の3か年平均値。

資料：総務省「家計調査」により特別集計。  
出典：内閣府「国民生活白書(平成17年版)」

### (4) 教育関係費の増加

教育関係費比率は、昭和44年の5.8%から平成11年の12.6%と2倍以上となっています。近年、教育関係費は鈍化してはいますが、過去30年間でみると、割合は大きく上昇しています。

図 12 教育関係費の増加



1. 「教育関係費比率」とは、夫婦と子ども二人世帯（全国・全世界）の消費支出に占める教育関係費の割合。
2. 「洋服類」とは、子ども用の和服、洋服、学生服、乳児服、シャツ、セーター、下着、靴下、くつ、紙おむつの合計。
3. 「教育関係費」とは、学校給食、電車およびバスの通学費、授業料等、教科書・学習参考教材、文房具、補習教室、教育的月謝、音楽月謝、遊学仕送り金の合計。
4. 「その他」とは、子ども用乗物、テレビゲーム、他のがん具、保育所費用の合計。

資料：総務省「全国消費実態調査」  
出典：内閣府「国民生活白書(平成13年度)」

## 4 保育の状況

### (1) 保育所の児童総数

平成18(2006)年4月現在、鎌倉市には16(公立8、私立8)の認可保育所があり、入所児童数は、平成12(2000)年度の1,184人から平成18(2006)年度には1,442人となっており、ここ数年増加傾向を示しています。

また、定員に対する入所率についても、同様の傾向を示しており、平成18(2006)年度には、104.9%となっています。

表1 認可保育所の定員数・入所児童数等

区分	公立	私立	合計
保育所数	8	8	16
定員数(人)	705	670	1,375
入所児童数(人)	733	709	1,442

資料：保育課  
平成18年4月1日現在

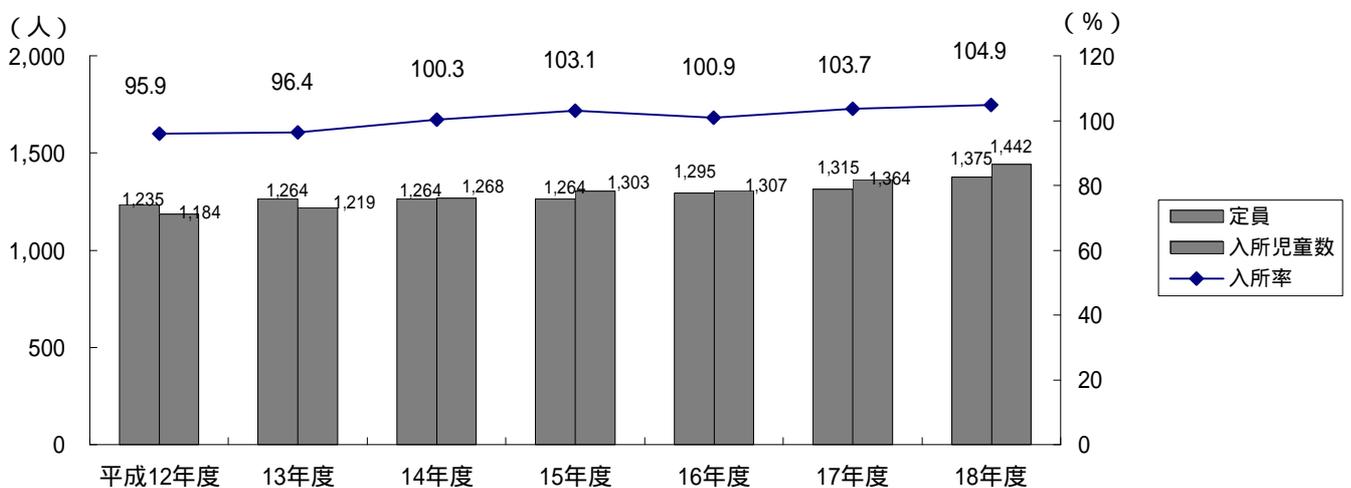
表2 認可保育所の定員数・入所児童数等の推移(受託児含)

区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
保育所数	14	14	14	14	15	15	16
定員数(人)	1,235	1,264	1,264	1,264	1,295	1,315	1,375
入所児童数	1,184	1,219	1,268	1,303	1,307	1,364	1,442
入所率(%)	95.9	96.4	100.3	103.1	100.9	103.7	104.9
利用率(%)	16.8	17.4	17.7	17.9	17.3	17.4	17.9

入所率は、定員に占める入所児童数の比率を示し、利用率は、0～5歳の人口に占める入所児童数の比率を示す。

資料：保育課 各年度4月1日現在

図13 認可保育所の定員数・入所児童数等の推移



(2) 保育所利用率の推移（鎌倉市）

認可保育所の利用率は、平成12（2000）年度の16.8%に比較すると、平成18（2006）年度では、17.9%となっており、ここ数年間で1.1%増加しています。

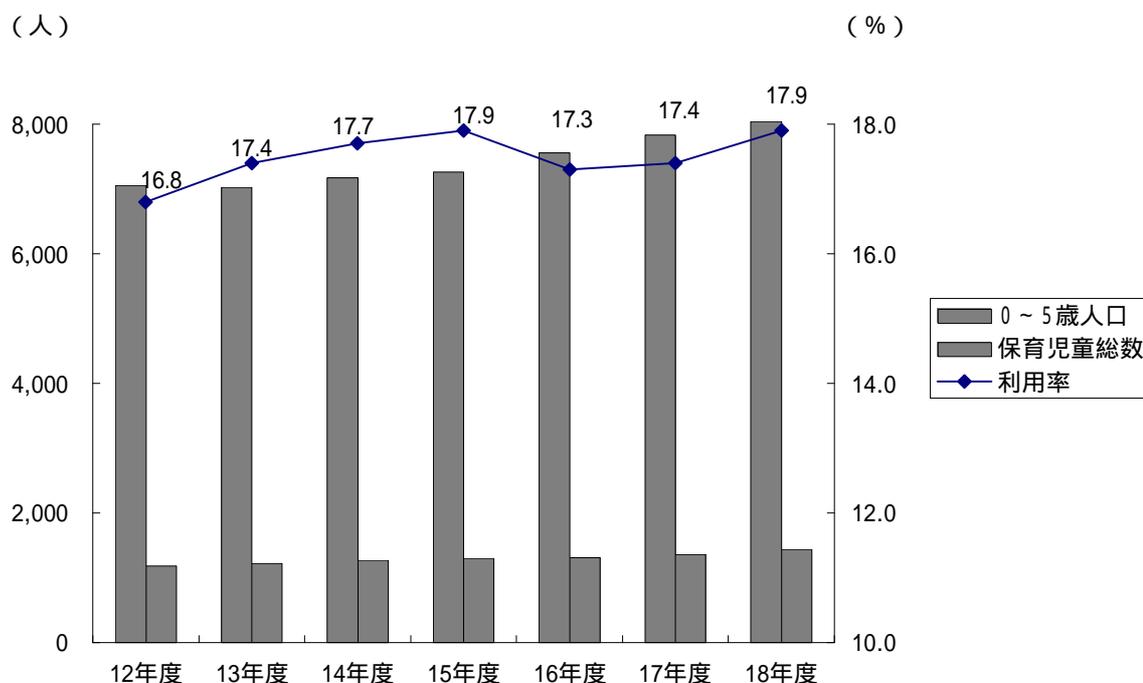
表3 認可保育所の0～5歳人口・保育児童総数等（受託児含）

（単位：人、％）

区 分	0～5歳人口	保育児童総数	利用率
平成12年度	7,058	1,184	16.8
平成13年度	7,021	1,219	17.4
平成14年度	7,168	1,268	17.7
平成15年度	7,261	1,303	17.9
平成16年度	7,556	1,307	17.3
平成17年度	7,830	1,364	17.4
平成18年度	8,042	1,442	17.9

資料：保育課  
各年度4月1日現在

図14 認可保育所の0～5歳人口・保育児童総数等



(3) 待機児童数の推移（鎌倉市）

保育待機児童数については、平成17（2005）年度は29人、平成18（2006）年度は41人となっています。

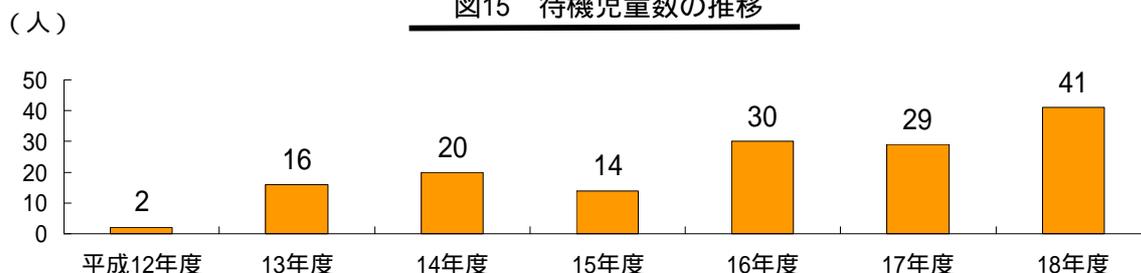
表4 年齢区分別保育待機児童数（市）（受託児含）

（単位：人）

区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
0歳	0	2	2	1	3	4	3
1歳	0	3	8	5	18	9	16
2歳	1	6	4	2	2	11	15
3歳	0	3	4	2	4	3	5
4歳以上	1	2	2	4	3	2	2
合計	2	16	20	14	30	29	41

平成15年度以降は、新定義による待機児童数  
資料：保育課 各年度4月1日現在

図15 待機児童数の推移



(4) 幼稚園の児童総数（鎌倉市）

鎌倉市には、幼稚園が23園（私立のみ）あり、在園児童数は2,640人となっています。

表5 幼稚園の定員数・在園児童数等

区分	公立	私立
園数(園)	-	23
定員数(人)	-	3,955
在園児童数(人)	-	2,640

表6 幼稚園の定員数・在園児童数等の推移

区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
園数(園)	23	23	23	23	23	23	23
定員(人)	4,105	3,885	3,865	3,845	3,845	3,905	3,955
在園児童数(人)	2,178	2,135	2,216	2,226	2,370	2,510	2,640
入園率(%)	53.1	55.0	57.3	57.9	61.6	64.3	66.8
利用率(%)	60.8	60.4	60.3	60.5	61.3	62.3	62.9

入園率とは、定員に対する在園児童の割合を、利用率とは、3～5歳人口に占める在園児童数の割合を示す。  
資料：こどもみらい課 平成18年5月1日現在

(5) 子どもの家（学童保育）の状況

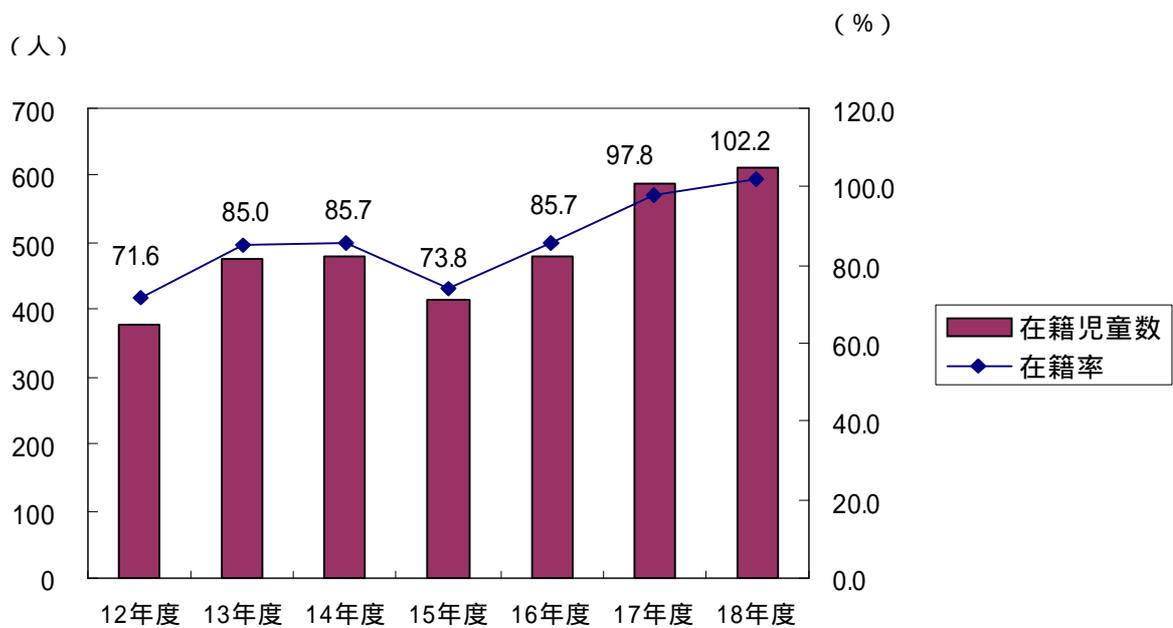
鎌倉市では、平成18（2006）年4月1日現在、子どもの家が15か所あり、在籍児童数は、613人となっています。

表7 学童保育の実施箇所・在籍児童数

区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
実施箇所（所）	13	14	14	14	14	15	15
定員数（人）	525	560	560	560	560	600	600
在籍児童数（人）	376	476	480	413	480	587	613
在籍率（％）	71.6	85.0	85.7	73.8	85.7	97.8	102.2

資料：こどもみらい課  
平成18年4月1日現在

図16 子どもの家（学童保育）の在籍児童数と在籍率の推移



## 5 子ども・子育てをめぐる問題の動向

### (1) 子ども・子育てをめぐる相談件数(こどもと家庭の相談室相談状況)(鎌倉市)

平成17年4月に「こどもと家庭の相談室」を開設し、子どもと家庭の福祉に関する第一義的窓口として相談にあたっています。

表8 平成17年度 依頼者別相談件数

		母親	両親	祖父母	親類	市役所 他部署	関係機関	隣人・知人	民生委員 児童委員	本人	ファミリー サポートセ ンター
総件	110	45	2	6	3	22	8	13	7	3	1
比率(%)		40.9	1.8	5.5	2.7	20.0	7.3	11.8	6.4	2.7	0.9

保健福祉事務所、子育て支援センター、ケアマネージャー  
資料：こども相談課

### (2) 教育相談・青少年相談件数(教育センター)

表9 教育センター相談室利用者数

区分	平成16年度	平成17年度
相談人数(新規)(人)	317	275
相談人数(人)	611	488
延べ相談件数(件)	1,733	1,023
延べ相談件数のうち訪問件数(件)	32	10

# 第4章 特集

## 子育て体験談

- 1 「晩御飯はパラダイス！」 鎌倉商工会議所 議員 牧田 知江子
- 2 「この人、知ってる？」 鎌倉私立幼稚園父母の会連合会 会長 池田 洋子
- 3 「“楽しい”子育てを！」 かまくら子育て支援グループ懇談会 副代表 平野 佳世子
- 4 「虹」 鎌倉市PTA連絡協議会 副会長 高 浩美
- 5 「赤いカーネーション」 鎌倉市手をつなぐ育成会 会長 宮内 淑江
- 6 「大人の本気!？」 鎌倉青年会議所 前理事長 市川 慎一
- 7 「幼児期は大人が適切にかかわることが必要」 鎌倉私立幼稚園協会 片岡幼稚園園長 嶋村 勝美
- 8 「日々たくましく成長する子供と」 鎌倉市保育園保護者連絡会 会長 岡田 栄二
- 9 「愚作『短歌集』から」 鎌倉市立小学校校長会 鎌倉市立第二小学校校長 入野 裕江
- 10 「子どもは子ども同士」 市民公募委員 小林 亮子



## 第4章 (特集) 子育て体験談

特集は、鎌倉市次世代育成支援対策協議会委員の皆様は、自分の子育て経験から子育てを通じて良かったこと、うれしかったことなどについてまとめていただいたものです。

### 晩御飯はパラダイス！

「今晚、ご飯、何？」

夕方になると決まってかけてくる子供のこの言葉に、まだ店で仕事中の私はそっけなく、「まだ、ぜ～んぜん、考えていない！」と答える。

事実、現在進行形で、営業中モードの頭では夕食に関して、なんのアイデアもない。といっても、この声がきっかけとなり、気分は閉店モードに変わっていく。そろそろ、切の良い所で終わらせよう。「冷凍庫に鶏肉があったかな？ 葱、無かったな、子供にお使いに行ってもらおう。」まったく、一日中、仕事をして、ほっとする間もなく晩御飯の準備。

「御腹がすいた！」

と騒ぐ子に、早く食べたければ手伝ってと私。ぼやきながらも、子供と一緒に料理をすれば仕事のストレスを忘れていく。

「さあ、ご飯になるから、皆呼んで！」

めでたく、卓を囲めば、子供達の他愛のない話で盛り上がり、完全にリラックス。

「ご馳走さま！今日の皿洗い当番は誰だったっけ？」

後は、宜しくと子供にお任せ。今日も一日無事に終了です。皆、ありがとう。明日も「今晚、ご飯、何？」の声、待ってるよ！

鎌倉商工会議所 議員 牧田 知江子

### この人、知ってる？

ある日、我が家の小1の男の子が、私に尋ねました。

子「ねえママ、ヨン様、知ってる？」

私「もちろん。」

子「じゃあ、ゴウ様って知ってる？」

私（郷ひろみのこと？古いなあ…。）「知ってるけど…。」

子「じゃあ、ロク様、知ってる？」

私（そんな人、いたかなあ…。）「え～と、知らない。」

子「じゃあ、ナナ様は？」

私「…………。」

子「八子様は？」

私「！？」（子どもって本当におもしろい！！）

鎌倉私立幼稚園父母の会連合会 会長 池田 洋子

## “楽しい”子育てを！

子育ての喜びは人それぞれだと思います。今の私にとっては、「お母さん」と胸に飛び込んでくる子どもを抱きしめることが無上の幸せです。(上はもう小2ですが・・・)誰よりも自分を必要としてくれる子どもの存在がどれだけ人生を豊かにしてくれていることが。それを重圧と感じてしまうのはとてももったいない。

独りで子どもを抱えてうずくまっていると、折角の幸せが見えにくくなったりします。人の輪を広げて、一緒に子育てしましょう！

かまくら子育て支援グループ懇談会 副代表 平野 佳世子

## 虹

私が初めて虹を見たのは入園前の早朝のこと、母の背に負われてのことだった。

「虹が出てよ。」

まだ、虹を見たことのなかった私を揺り起こし、寝ぼけまなこの私を負って、母は近所の空き地まで小走りに走った。

空に見事にかかった七色の橋。私の記憶の中で、虹は母の背のぬくもりと強く結びついている。

しかしこの幸せな記憶は、長く私の意識の底に沈んでおり、鮮やかに思い出したのは自分が子育てをしている時だった。子育てをする中で自分が親からしてもらった様々なことを思い出した。こうした、育ててもらう中で受け取った暖かな思いが、私という人間の根っこを作っているのだろう。そして成長し、意見の相違から親子でぶつかることがあったとしても、根元のところではつながってられる、そんな気がする。

私は三人の子ども達にどれだけ暖かな思いを、渡すことが出来ているだろうか。

鎌倉市PTA連絡協議会 副会長 高 浩美

## 赤いカーネーション

三人の子供から、母の日にプレゼントをもらいました。長男はしっかり稼いでいるので、バッグを買うお金をくれました。知的障害者の次男はイチゴのポッキーを買い、一緒に食べました。ADHDの三男は、仕事の帰りに赤いカーネーションの花束を買って来ました。三人それぞれの個性が表れたプレゼントでした。特に三男が仕事に就いて、プレゼントを買ってくれたのは初めてだったのでとても嬉しく、花が枯れない様に大切に世話をしました。

二人の障害を持った子供を育てるのは、大変な事も多くありました。特にADHDは、外見や普段の様子では理解してもらえない障害です。色々なトラブルにいつも親子で苦しみ、泣きました。誰かに託す事が出来ない、終わりの無い障害者の母親という役目を続けて行かれるのも、こんな小さな喜びがあるからだと思っています。赤いカーネーションを見つめ、幸せな母親の気分を味わった母の日でした。



鎌倉市手をつなぐ育成会 会長 宮内 淑江

## 大人の本気！？

先日、北鎌倉・円覚寺で文化庁長官河合隼雄先生の講演会があったので聞きにいってきた。長官などとたいそうな肩書きなのでむずかしい話でもするのかと、少し警戒して行ったのだがまったく逆であった。関西弁で人懐こく話す、どこにでもいるようなおじいちゃまだった。河合先生は臨床心理士でもあるらしく、過去に患者さんを診てきた経験から、子どもたちへ、親たちへ、そして地域の大人たちへいろいろなヒント・アドバイスを投げかけていた。その中でも、私のところに強く響いたお話があったので紹介させていただきます。

『子どもと本気で遊ぶ＝子どもに主導権をゆずる』という話である。大人は子どもと遊ぶ時、本気で遊んでいるのだろうか？子どもに合わせて遊んであげているつもり...、つもりではダメなのである。後先のことを考えて手加減するのではなく、相手＝子どもに主導権をゆずり、その世界に入って本気で相手をしてあげることが重要なのである。よくこういう話をすると、子どもは何度も繰り返すから切りがないとか、子ども相手に大人が本気になれるか、などいろいろ大人の言い訳を耳にするが、本当にそうだろうか？子どものころが形成される幼少期に集中して本気で相手をしてあげれば、その本気さは子どもにも伝わるものだ。キチンと親の愛情を受けとめた子どもは、その後大きく人生がぶれたりはしないものだ。

この話を聞いて、自分の人生を少し振り返ってみた。自分自身のことや仕事も大切だが、本当に大切な事って何だろう？特に子どもが10歳になる位までの時期に、人として、親として、やらなければならない大切な事があるような気がした・・・。

鎌倉青年会議所 前理事長 市川 慎一

## 幼児期は大人が適切にかかわることが必要

「物は豊かになったが心は貧しくなった」

と言われて久しくなりますが、この風潮がなかなか変わりません。私にも5歳になる孫がいますが、この子の家にもご他分にもれず玩具や絵本があふれています。そして、我が家にも孫が遊びに来た時のためにある程度の玩具と絵本を用意しています。

この孫を見ていると、絵本や玩具で遊ぶことは成長にはプラスになっていると感じていますが、玩具の数が多いと一つの玩具で遊ぶ時間が短く、次々と遊びが変わることと、その為に遊んだ後の片付けが大変になってしまうことが気になっています。ですから、なるべく種類の玩具で長く遊べるように一緒に遊んだり、必ず片付けはするように援助したりしています。

小さいからまだ無理だと決めつけずに一緒に行くようにすれば、3歳くらいで片付けもしますし、ハサミなどの道具も使えるようになります。ですから幼児期は、大人と一緒にかがわっているいろいろな体験が積めるようにすることがとても大切なことだと思います。同時に、善いことをしたり、上手に出来た時には多いにほめる、いけないことや間違っただけをした時にはきちんと叱ったり注意する。こうした大人の適切な援助と指導が必要ではないかと考えています。

鎌倉私立幼稚園協会 片岡幼稚園園長 嶋村 勝美

## 日々たくましく成長する子供と

ゴールデンウィークに、市内公立保育園（岡本保育園）に通っている子供たち（5歳長男、3歳次男）と妻と4人で、北鎌倉の建長寺にゆきました。境内を長男はよく知っていました。「カラス天狗がいるところに行こうよ」と急な階段を一気につけて登ってゆきます。聞くと、保育園の遠足で、なんと岡本保育園（玉縄）から建長寺までみんなでかけ足で行き、建長寺裏山の長くて急な階段をカラス天狗の像のある半僧坊までかけて登って弁当を食べ、一日で帰ってきたそうです。そのときのエピソードをいろいろと話してくれました。保育園では、保育士の皆さんは子供たちを誠心誠意育てて下さっており、大変有難く感謝しております。子供は近頃めっきり体力がついて自信もでてきたようです。日増しにたくましくなってく子供たちの後から息を切らし、微笑ましくおもいつつ階段を一步一步、歩いて登ってゆきました。その日の帰りはダウン、電車に乗って帰りました。

鎌倉市保育園保護者連絡会 会長 岡田 栄二

## 愚作『短歌集』から

『花びらに葉先の銀の露<sup>あ</sup>生れて 子の旅立ちのあした揺れおり』

私ごとで恐縮ですが、この度、つたない短歌をまとめ、歌集として発刊することが出来ました。私は本年度で教職歴は38年目となり、家庭においては一男一女の母親です。

冒頭の歌は、この歌集の中の「家族」の章から抜粋し、子育ての一つの実りを詠んだものです。

「学校」の章では

『天空にバチを大きく振り上げて子らは踊るも法被<sup>ほっぴ</sup>凜凜しく』

『ランドセルカバーの黄色くろずみて子らの笑顔に自信増しゆく』

などがあります。

子供たちとの出会いは、そのときどきに私に感動を与えてくれる瞬間です。

鎌倉市立小学校校長会 鎌倉市立第二小学校校長 入野 裕江

## 子どもは子ども同士

夕食の支度で大忙しの私。4か月の娘が甘え泣き。別の部屋で遊んでいた姉たち（小4、小1）に「遊んであげて～！」とお願いし台所へ。

部屋からは「大きなかぶごっこしよう～ 私はおじいさん、ちーちゃんはまだご、あーたんは……かぶねっ。」「うんとこしょどっこいしょ……！！」いつも最後は姉二人が大盛り上がりで遊んでしまいますが、それでも4か月の娘は満足そうに姉二人を見ながらニコニコ。

ネンネの赤ちゃんでも一緒に遊べるんだと感心しました。

市民公募委員 小林 亮子

# 資料

1 推進体制と経過

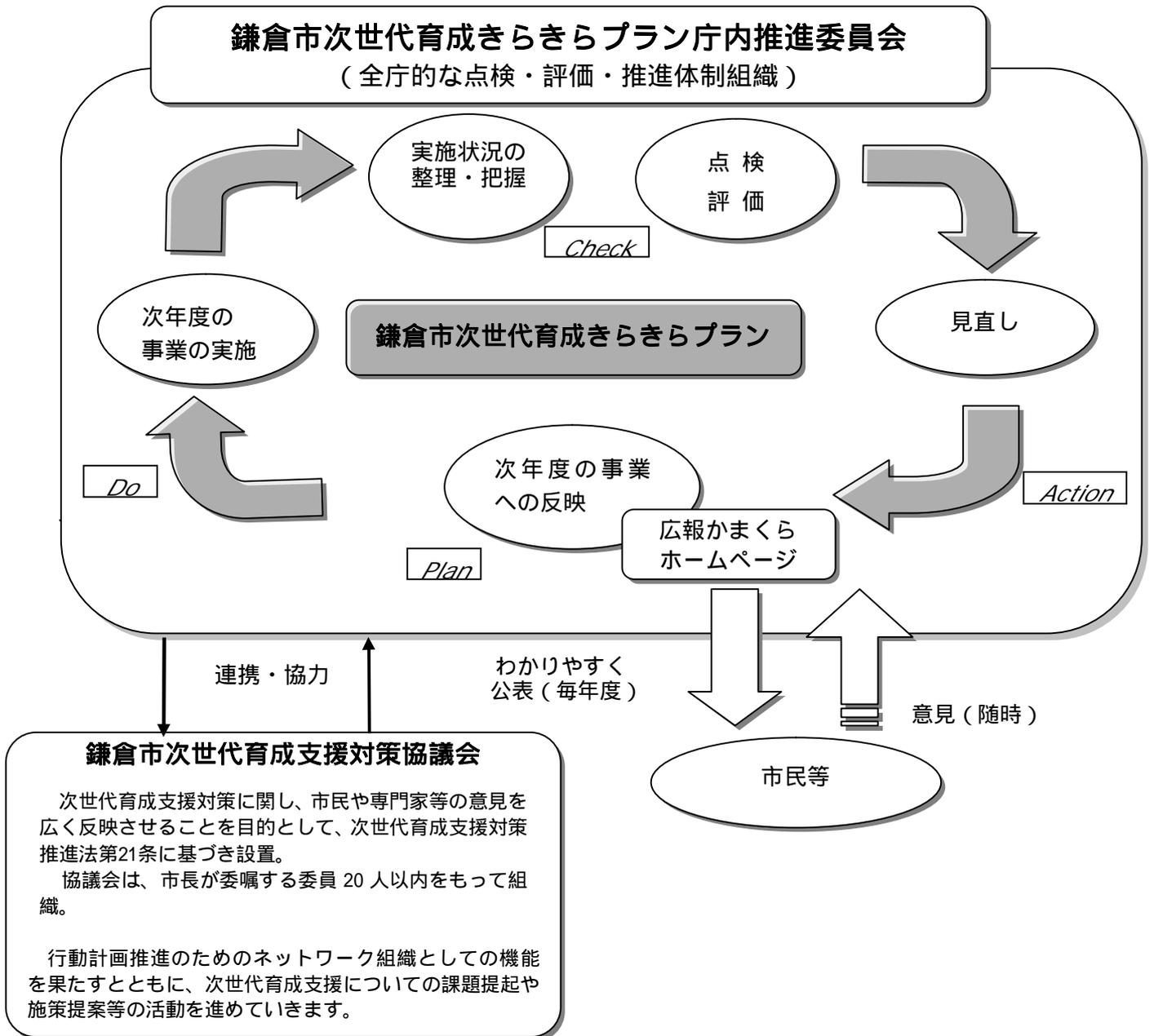
2 次世代育成支援対策協議会  
設置要綱

3 次世代育成支援対策協議会  
委員名簿



# 推進体制と経過

計画を推進していくために「鎌倉市次世代育成きらきらプラン庁内推進委員会」を設置し、庁内の横断的組織を活用しながら、全庁的な施策の推進を図りました。



- 平成 17 年 8 月 10 日 第 1 回次世代育成きらきらプラン庁内推進委員会
- 平成 17 年 10 月 3 日 第 2 回次世代育成きらきらプラン庁内推進委員会
- 平成 17 年 10 月 14 日 第 1 回次世代育成支援対策協議会
- 平成 17 年 12 月 19 日 かながわぐるみ・次世代育成支援出前懇談会
- 平成 18 年 1 月 16 日 次世代育成支援職員研修会
- 平成 18 年 2 月 22 日 第 3 回次世代育成きらきらプラン庁内推進委員会
- 平成 18 年 3 月 22 日 第 2 回次世代育成支援対策協議会

# 鎌倉市次世代育成支援対策協議会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 市民が安心して子どもを産み育てることができ、子どもが心身ともに健やかに育つことができる環境を整備するための次世代育成支援対策に関し、市民や専門家等の意見を広く反映させることを目的として、次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第21条に基づき鎌倉市次世代育成支援対策協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 協議会は、市長が委嘱する委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験のある者その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、委嘱をした日からその年度の末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 協議会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、協議会の会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(会議の公開)

第6条 協議会の会議は公開とする。ただし、委員長が公開することを不適当と認めるときはこの限りでない。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、こども局推進担当、こども福祉課及び市民健康課が担当する。

(次世代育成団体別懇談会)

第8条 市は、次世代育成についての意見を求めるため、事業主などが組織する地域協議会と次世代育成団体別懇談会を実施し、必要な連携を図っていくものとする。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

この要綱は、平成16年4月12日から施行する。

付 則

この要綱は、平成17年9月1日から施行する。

# 鎌倉市次世代育成支援対策協議会委員名簿

選出団体等	役職等	フリガナ	氏名
明治学院大学	教授	マツハラ	ヤスオ 松原 康雄
神奈川県立保健福祉大学	助教授	シンボ	ユキオ 新保 幸男
鎌倉商工会議所	議員	マキタ	チエコ 牧田 知江子
鎌倉青年会議所	前理事長	イチカワ	シンイチ 市川 慎一
鎌倉市社会福祉協議会	事務局長	タチカワ	エツコ 立川 悦子
鎌倉保健福祉事務所	保健福祉部 保健福祉課長	ヤマダ	ミヨコ 山多 美代子
鎌倉市民生委員児童委員協議会	主任児童委員	オジマ	タマヨ 尾島 珠世
かまくら子育て支援グループ懇談会	副代表	ヒラノ	カヨコ 平野 佳世子
鎌倉市手をつなぐ育成会	会長	ミヤウチ	ヨシエ 宮内 淑江
鎌倉市保育会	会長	トミタ	ヒデオ 富田 英雄
鎌倉市保育園保護者連絡会	会長	オカダ	エイジ 岡田 栄二
鎌倉私立幼稚園協会	片岡幼稚園園長	シマムラ	カツヨシ 嶋村 勝美
鎌倉私立幼稚園父母の会連合会	会長	イケダ	ヨウコ 池田 洋子
鎌倉市立小学校校長会	鎌倉市立第二小学校 校長	イリノ	ヒロエ 入野 裕江
鎌倉市PTA連絡協議会	副会長	コウダテ	ヒロミ 高 浩美
鎌倉市青少年指導員連絡協議会	副会長	コサカ	ヤスコ 小坂 泰子
市民公募委員		コバヤシ	リョウコ 小林 亮子

委員長

副委員長

鎌倉きらきら白書

平成17年度鎌倉市次世代育成きらきらプラン  
推進状況報告書

平成 18 年 7 月

編集・発行 / 鎌倉市こども部こどもみらい課

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10

電話：0467-23-3000 内線2651

協力 / 鎌倉市次世代育成支援対策協議会



古紙配合率 100%再生紙を使用しています